タイトル	道内連携推進プロジェクト ～北海道の発展なくして、札幌の発展なし～		推進体制等 地方公共団体間の協働
団 体 名	さっぽろし 札幌市（北海道）	人　口	1,930,496 人
事 例 の ポイント	○　札幌市では、札幌の都市機能と北海道の豊かな資源との連携による、新たな価値の創造や道内の経済循環促進を目的に、平成 25 年度から道内市町村との連携事業を実施。 ○　道内各地域が活用可能な札幌の施設や広報媒体を道内市町村職員に実地に紹介する「さっぽろ活用促進ゼミ」の開催、道産品のアンテナショップを活用した「お試し出展」など、各種の事業を実施。 ○　札幌市と道内市町村との連携の輪が広がる効果。		
背景・目的	多くの自治体で人口減少が進む中、札幌市においても平成 27 年をピークに人口が減少に転じる見込みであり、生産年齢人口の減少に伴い、経済が縮小していくことへの危機感を抱いていた。 札幌の経済は卸売業や観光産業など北海道の食や自然などの豊かな資源に支えられており、北海道全体の発展が、札幌の経済の発展につながる。このため、「北海道の発展なくして、札幌の発展はない」との考え方の下、北海道の中心都市として、札幌の持つ都市機能を最大限に生かしながら、北海道の豊かな資源との連携による新たな価値の創造や道内の経済循環促進、北海道全体の魅力発信を「札幌市まちづくり戦略ビジョン」に位置づけ、平成 25 年度から、道内市町村との連携事業に重点的に取り組んでいる。		
内　　容	道内各地域のニーズを的確に把握するとともに、札幌市の考え方を広く発信するため、道内 178 市町村へのアンケート調査や道内全 14 振興局を訪問し、各管内市町村との意見交換「ぐるっと地域訪問」を実施した。そこで道内市町村から出された「札幌と連携したいがどこに相談すれば良いかわからない」、「どのような広報ツールがあるのか知りたい」、「大消費地である札幌のマーケットを活用したい」などの意見を踏まえ、道内市町村にとって札幌を活用しやすくなるように取組を開始した。 ①つながる地域ホットライン（連携に関する相談窓口を開設） ②さっぽろ活用促進ゼミ（札幌の施設や広報媒体を道内市町村職員に実地に紹介） ③札幌☆取扱説明書（札幌の施設や広報媒体、その活用事例などを紹介する冊子を作成し、道内全市町村、観光協会等に配布） 併せて、札幌市民の道産品の購入や道内周遊を促進する取組として、道産品のアンテナショップにおいて地域が出展する際の費用を札幌市が支援する「お試し出展」や、道内各地で行われているフォトコンテストの優秀作品を札幌市内中心部で展示する「いいとこ撮り北海道フォトコンサミット in Sapporo」などを実施している。		
効　　果	上記取組により、①相談件数：164 件（H27.3.27 現在）、②H25 年度 25 市町村 31 名、H26 年度 35 市町村 89 名が参加、③道内市町村や観光関連団体等に 1,000 部配布後、地域からの要望により 1,000 部増刷するなど、連携の輪が広がってきている。 こうした取組を受け、地域においても札幌の活用機運が盛り上がり、札幌卸売市場と連携したPRの実施や、札幌市役所食堂と連携したフェアの開催なども実施されている。 また、「お試し出展」では 29 市町村 90 品の出展の内 12 品が継続販売につながっているほか、「いいとこ撮り北海道フォトコンサミット in Sapporo」においては、期間中約 2 万人の方が訪れ、1,000 人に行ったアンケートでも「このイベントをきっかけに、この夏道内旅行に行きたくなった」との回答が 88.1％にのぼっている。		
担 当 課 関連サイト	札幌市市長政策室政策企画部企画課 http://www.city.sapporo.jp/kikaku/renkei/		